

設定した言語活動を通して育てたい力

○ まとまりのある英文（説明文）を読んで、その概要・要点を理解することができる。

思考力・判断力の育成

- ◇ 学年 第2学年
- ◇ 単元名 Lesson 6 Uluru
- ◇ 本時の目標 英文“Uluru”について、トピックセンテンスに着目してその内容を読み取る。
- ◇ 学習の流れ（5時間目/全6時間）

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準〔観点〕 （評価方法）
1 本時のめあてを確認する。		
<p>“Uluru”の各段落のトピックセンテンスを選び、全体の要約を英文で書くことができる。</p>		
<p>2 前時の学習内容を確認する。 ・“Uluru”の前半部分を音読し、トピックセンテンスを思い出す。</p> <p>3 教師によるオーラル・イントロダクションを聞く。 ・本文の内容について、教師の英語による説明を聞く。</p> <p>4 概要をつかむ。 ・オーラル・イントロダクションの内容について、教師の質問に英語で答える。</p> <p>5 音読活動をする。 ・フレーズ・リーディングを行う。</p>	<p>◇ “Uluru”の前半と後半のトピックセンテンスをつなげると、要約文ができることを話す。また、今日は最後に要約文を書くことに挑戦することを確認する。</p> <p>◇ ワークシートを使用し、“Uluru”の前半部分のトピックセンテンスを確認する。</p> <div data-bbox="550 795 1220 1120" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>活動の順序</b></p> <p>①スクリーンに写真を提示しながら本文を聞かせる。 ②メモを取りながら本文を聞かせる。 ※予想されるメモ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アナンク人 うれしい 訪問者が来る</li> <li>訪問者 岩に上る 写真をとる</li> <li>・アナンク人の文化 尊敬していない</li> <li>・訪問するときは 尊敬の気持ち</li> </ul> <p>③メモをしたことを全体で確認する。 ④キーワードをマッピングしながら本文を聞かせる。 ⑤必要があれば日本語で補足を加える。 ・visitors, respect の意味を再確認させる。等</p> </div> <p>◇ あらかじめ質問を提示しておくことにより、目的をもって英語を聞かせるようにする。</p> <p>◆ <b>答え方がわからない生徒にはヒントカードを渡す。</b></p> <div data-bbox="550 1220 1220 1332" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>ヒントカードによる支援について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Yes/ Noで答える質問には、<u>      </u>, they <u>      </u>.のように主語だけ示しておく。</li> <li>・5W1Hを含む質問には、主語、動詞を示しておく。</li> </ul> </div> <div data-bbox="550 1344 1220 1467" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>活動の順序</b></p> <p>①意味のまとまりごとにスラッシュで区切った本文を3回音読させる（ワークシート使用）。 ②主語には<u>      </u>を、動詞には下を引いて文構造に意識を向けさせる（プレゼンテーションソフト使用）。</p> </div>	<p>理解したことを後で表現することを意識させて、理解のための言語活動をさせましょう。</p> <p>★ここでは、「最後に要約文を書く」という言語活動を行うことを意識させて、各段落の概要をつかませたり、各段落のトピックセンテンスを見つけさせたりしています。理解したことを表現する活動を後で行うことを意識させることによって、本時の「大切な部分を読み取る」という言語活動に対する必要感ややる気を高めることができます。</p>
<p>6 要点をつかむ。 ・ワークシートを活用して、各段落のトピックセンテンスを見つけて下線を引く。 ・各段落のトピックセンテンスを、ワークシートを用いて確認する。</p> <p>7 本時のまとめをする。 ・“Uluru”の要約文を作成する。</p>	<p>◆ 1回でトピックセンテンスを見つけることが難しいようであれば、「まずは大事だと思う文を3つ選ぼう」「(生徒が選んだ文の中から)一番大事な文はどれだろう」「なぜそう考えたのか」等の発問をして、段階的にトピックセンテンスに近づけていく。</p> <p>◇ 下線は、最初黒色で、答は赤色で引かせ、学習の過程が見えるようにさせる。</p> <p>◇ 一文ずつ短冊を作っておき、生徒が言った英文を貼る。</p> <p>◇ “Uluru”の前半及び後半部分の各段落のトピックセンテンスをつなげさせて要約文を作らせる。</p>	<p>・まとまりのある英文（説明文）を読んで、その概要・要点を理解することができる。〔外国語理解の能力〕（ワークシート・後日テスト）</p>
<p>生徒のまとめ例</p>		
<p><u>Ayers Rock is a famous place in Australia. The rock is a sacred place to the native people, Anangu. Climbing the rock and taking pictures of sacred places do not show respect for Anangu culture. Please respect their culture and enjoy your stay while you are in Anangu Land.</u></p>		
<p>・トピックセンテンスの位置を確認する。</p>	<p>◇ 本文をスクリーンに提示し、トピックセンテンスの位置を視覚的に捉えさせ、段落中の位置に傾向があること（最初と最後に多い）に気付かせる。</p>	<p>各段落のトピックセンテンスを活用して、要約文を考えさせましょう。</p> <p>★トピックセンテンスを活用して要約文を書くという活動を組み込むことにより、読んだ英文についての理解が深まります。</p>
<p>8 本時を振り返り、次時につなげる。</p>	<p>◇ 次時は、“Uluru”とは別の説明文を読んで、トピックセンテンスを見つけて要約文を作成することに挑戦してやることを伝える。</p>	